

一 般 質 問 通 告 表

平成 29 年第 1 回 始 良 市 議 会 定 例 会（3 月 13 日（月） 午 前 10 時 開 会）

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質 問 の 相 手
16. 堀 広子	1. 木田本通り線 改良工事について	平成 22 年に歩道改修も含め、新生町交差点から 1.5 キロメートルの道路改良計画が途中で終わっている。高速道路下の手前から北へ残りの区間は通学路でもあり、交通量も多いことから改修を早めに行えないか。	市 長
	2. 就学援助制度について	<p>(1) 生活保護世帯と同程度に困窮している世帯に対する就学援助のうち、新入学児童生徒に対する入学準備費用の国の補助単価が約 2 倍に引き上げられた。</p> <p>このことから、準要保護世帯についても引き上げ（支給基準の改善）を求めるがどうか。</p> <p>(2) 入学後に支給されていた入学準備金を入学前支給に改善し、教育費負担の軽減を図れないか。</p>	市 長 教育委員長
	3. 学校給食費の 無償化について	<p>子どもの貧困が深刻化するなか、給食費を補助する自治体が広がっている。</p> <p>給食費を払えずに肩身の狭い思いをしたり、生活費を切り詰めて給食費を捻出するなど、子ども達や家庭にも大きな負担となっている。</p> <p>このような実態を受け、自治体独自の施策で無償化が広がっている。</p> <p>学校給食法は、食育の推進をきっかけ、学校給食は生きた教材でもある。憲法 26 条は、義務教育の無償を明記している。</p> <p>教育費の負担を軽減するため、学校給食費の無償化を検討できないか。</p>	市 長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
17. 渡邊 理慧	<p>1. 給付型奨学金について</p> <p>2. 保育所問題について</p>	<p>国は返済不要な給付型奨学金制度の導入を決めた。現在、高すぎる学費のもとで、大学生の2人に1人は奨学金を利用しているが、そのほとんどが貸与型である。奨学金は、学びたいと思う学生の夢と希望を後押しするものである。しかし、大学を卒業した後、平均300万円の借金を背負って社会に出て、返済が負担となり生活に困窮する人など、返済をめぐって若者の人生を狂わせる事態も発生している。親世代も連帯保証人として負担を背負うケースもあり、社会問題化している。学生を応援するための奨学金が、若者を苦しめるという状況である。このようなことから、本市の奨学金制度について拡充を求める立場で以下について問う。</p> <p>(1) 国の給付型奨学金の制度の内容と検討状況は、どのようになっているか。</p> <p>(2) 国の制度では対象者が少ないとの指摘もあるが、このことについての見解を問う。</p> <p>(3) 本市の奨学金の現状について、これまでの利用者数や金額はどれほどか。</p> <p>(4) 平成29年度の対象見込み人数は、どれほどか。</p> <p>(5) 返済金の滞納者の状況は、どのようになっているか。</p> <p>(6) 本市独自で給付型奨学金創設を考えてはどうか。</p> <p>「保育園落ちたの私だ」と国会前での抗議行動があつてから、1年が経過しようとしている。全国で昨年4月に認可保育園に入れなかった子どもは、約2万4千人で2年連続増加している。認可保育園入所を希望したが入れずに認可外に入れた、親が育児休業を延長して家で面倒をみたなどの隠れ待機児童は6万7千人以上にのぼる。</p>	<p>市 長 教育委員長</p> <p>市 長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	3. 高樋・上場線の道路拡幅について	<p>始良市は平成27年度に小規模保育施設の新設や認可保育所の定員増などを行っているが、待機児童は解消されていない。本市のニーズに合った保育が必要と思うが、保育料や保育士の確保についてどのように考えているか。</p> <p>また、国は地方行革を看板に、公立保育所の廃止や民営化を進める傾向にあり、10年間で約2,500か所の公立保育所が減少している。このことを踏まえて以下を問う。</p> <p>(1) 平成29年度予算案での待機児童解消策の内容は、どのようになっているか。</p> <p>(2) 保育料の負担軽減についての考えはないか。</p> <p>(3) 保育士の処遇改善と保育士を確保するための対策はどのように考えているか。</p> <p>(4) 公立保育所の民営化について、本市の考えはどうか。</p> <p>高樋・上場線は多くの学生が利用する通学路であり、下手山田帖佐線から帖佐中学校に向かう方への入り口は幅員が狭いため、現在整備が進められている。現在の進捗状況と今後のスケジュールについて問う。</p> <p>また、高樋第一橋は、歩行者がいると車が通れないほど非常に狭い。架け替えを行うか、歩行者用の橋を作ることができないか。</p>	市 長
18. 犬伏 浩幸	1. 地域経済の活性化について	<p>昨年、「始良市人口ビジョン」「始良市総合戦略」が策定された。</p> <p>「活力ある始良市」を維持するために、地域経済活性化への取組みは大変重要であると認識している。</p>	市 長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 官民データ活用推進基本法について	<p>以下、取組みについて現状を示せ。また、課題・解決策を問う。</p> <p>(1) 小規模事業者支援について (2) 商店街活性化について (3) 創業支援について (4) 農商工連携推進について (5) 働き手の確保について</p> <p>平成28年12月、官民データ活用の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進し、もって国民が安全で安心して暮らせる社会及び快適な生活環境の実現に寄与することを目的とする「官民データ活用推進基本法」が成立した。</p> <p>本市における対応状況を問う。</p>	市 長
19. 上村 親	1. パークゴルフ場建設について	<p>パークゴルフは、1983年に北海道幕別町の公園の一面から、ふとした遊びから誕生した。公園の中にコースを設定し、ゴルフをより簡単にした遊び感覚で楽しめるスポーツである。</p> <p>パークゴルフは、クラブ1本とボール1個、ボールを置くティがあれば誰もがすぐにプレーを楽しむことができる。</p> <p>コースについては、一定の基準があり1ホールの長さを原則100メートル以内とし、9ホールの場合500メートル以内、18ホールを1千メートル以内としている。コース上に植栽やバンカーを設け、グリーン上のカップの位置など、安全性を確保しつつ難易度を高め、1ホールの打数を競うゲームである。</p> <p>県内の状況は、いちき串木野パークゴルフ場、菱刈パークゴルフ場、福山パークゴルフ場があり、今年度は鹿児島市も建設を予定している。</p> <p>このスポーツは、世代を超えて遊べる</p>	市 長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>楽しさや、力や体力による差が少ない気楽さ、それでいて奥深さのあるところに人気がある。その効果は、健康づくりや、観光、リハビリなど医療分野でも注目を浴びている。パークゴルフの原点である「人と自然にやさしい三世代交流のコミュニティスポーツ」として、本市で取り組む考えはないか問う。</p>	
20. 湯元 秀誠	1. 防災無線と地域情報の共有化	<p>(1) 昨年、「始良生活学校」の方々が、熊本の地震に見舞われた方（熊本県の生活学校の会長、益城町の会長）の体験を聞く会を計画された。</p> <p>その会への参加呼びかけを、蒲生の地域の方々だけでも市の防災行政無線で情報発信してもらえないかと「かもう女性の会」の方が依頼したが、受理されなかった。</p> <p>参加者が少なく、講演いただいた方に申し訳なかったと代表の方が述べられていた。</p> <p>防災無線の扱いは、法の下で厳しい制約があることは承知している。</p> <p>① 会の趣旨が防災の性格に適さなかったものであったのか。</p> <p>② 地域からの情報伝達の依頼は、どこの部署で精査しているか。</p> <p>③ 放送できない理由の返答は、なされたか。</p> <p>④ 以前は学校の運動会や夏祭りなど、天候に左右される開催の決定を行政からのお知らせで情報の発信がなされていたが、これなども適合しないのか。</p> <p>(2) 2月5日の南日本新聞の「かごしま会社探訪」欄に、霧島市の会社が紹介されていた。地域コミュニティ用の無線放</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>送システム「エリアトーク（商品名・社名）」を日本で始めて商品化した。これは、基地局となる放送卓を公民館などに置き、受診機を各戸に設置するものである。戸別受信機には留守録や、緊急時に電源が自動的に入る機能を備える。</p> <p>このシステムの大きな特徴は、地域情報発信と防災行政無線とが接続できることであり、東日本大震災以降、全国から注目されている。</p> <p>① 現在、市内の各校区、地域、集落で独自の放送施設を有し活用されている自治会はいくつあるか。</p> <p>② 有線、無線、アナログ、デジタルの分類はどうなっているか。</p> <p>③ 放送施設を有している自治会では、自主防災での活用は当然なされると考えるが、行政との連携や専門的指導はどのようになされているか。</p> <p>市の総合防災訓練では、自治会放送はどのような位置づけであるか。</p> <p>④ 今回の蒲生地域のデジタル化への移行では、どのような検討がなされたか内容を示せ。</p> <p>デジタル化は多額の投資となり、受信機などアナログの倍以上の単価と聞く。今の防災行政無線の体制でデジタル化することで、今日までの多様な活用に制約が加わり市民への情報サービスが向上するとは言い難く市民が望むニーズに沿っているか疑念する。</p> <p>全国的には地域の自治会の機能性を高めながら、防災を優先する安価なアナログのシステムへ計画変更している自治体がある。行政サイドの目線を変えても良いと考えるがいかがか。</p> <p>⑤ 今の社会は自宅に固定電話を所有する方々が少なくなり、携帯電話はプラ</p>	

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 宇都トンネルの増設計画の進捗について</p>	<p>イバシー侵害防止のため各連絡網には、公に表記できず、今後の情報伝達はますます難しくなると予測する。</p> <p>行政が実施する農政座談会、市政報告会、集団検診など、各学校行事、伝統芸能行事や商工会主催の各イベント、議会では議会と語る会、など多くの情報発信は文書回覧の手段しかない現状である。</p> <p>自治会の下、防災無線が優先されて戸別受信機で市民が傍受でき、自治会と行政が共有して弾力性高い活用が可能となるエリアトークのシステム導入は図れないか。</p> <p>宇都トンネルについては、以前にも質問しているが、通行される際に不安視される方々の関心が高く「トンネル計画は順調に進んでいるのか」「鹿児島市側は民間の開発が進んでいるが、用地交渉など、どうなっているのか」とよく問われる。今後の年度計画、現在の鹿児島市との協議含め進捗状況を示せ。</p>	<p>市 長</p>

